

# 平成 15 年度 / 第 6 回 理事会 議事録

日 時：平成 16 年 4 月 21 日（水）15 時～17 時 15 分

場 所：電気学会 第 1～3 会議室

出席者：深尾会長，川村会長代理，河合・城後・大久保・仁田 各副会長，鈴木・生駒・雨谷・尾形 各常務理事，村岡専務理事，藤原・平塚 各監事，酒井・林・大松・四元 各部門長，江刺準部門長，山城（代理：会田）・室田・尾崎（代理：林）・清水・松波・阿部（代理：元治）・副井・二宮（代理：興） 各支部長  
オブザーバ 小坂田・日比野・堀江・川畑・西上  
事務局 櫛間事務局長・蘆立事務局長代理，他 5 名

配布資料：

平成 15 年度 / 第 5 回 理事会 議事録（案）

1. 「平成 15 年度 事業報告（案）」提出状況リスト（支部・特別委員会関係），他
2. 平成 15 年度 収支決算報告について
3. 第 42 回功績賞・第 13 回業績賞・第 60 回電気学術振興賞・第 7 回優秀技術活動賞選出者一覧（平成 16 年）
4. 経営改革特別委員会 活動報告（概要），「経営改革特別委員会 活動報告書」
5. 常任理事会，企画会議の運営要綱廃止および経営戦略会議，総務会議，企画委員会の運営要綱制定について
6. 専務理事の選出について
7. 事業維持員代表評議員の交代について
8. （D 部門）役員の交代について（案）
9. O A システム更新のための入札結果と業者選定について
10. 2004 年 2～3 月会員入（退）会の承認について
11. 平成 15 年度 監査報告書
12. 平成 15 年度 評議員会 議事録（案）
13. 電気学会シンポジウム「欧米大停電の教訓は何か」開催のご案内
14. 社団法人 電気学会 第 92 回通常総会における「新会長演説」および「特別講演」開催のご案内
15. 事業概況報告
16. 電気学会細則および支部共通規程変更について

議事概要：

定刻に開会し，鈴木総務企画理事の議事進行により議案の審議に入った。

## 1. 前回議事録の確認

資料「平成 15 年度 / 第 5 回 理事会 議事録（案）」に基づき，鈴木総務企画理事から事前に配布してすでに確認頂いているが，その後の修正箇所等の有無を確認した結果，異議なく承認された。

## 2. 審議事項

2.1 平成 15 年度 事業報告案（支部・特別委員会関係）について

大久保副会長，各支部長および事務局から資料 1「平成 15 年度 事業報告（案）」提出状況リス

ト(支部・特別委員会関係),他」に基づき,次のとおり説明があり審議の結果,承認された。

ただし,確認の上,東京支部の事業報告(案)の特記事項へD部門大会の共催を追加することとした。

#### (1)支部関係

北海道支部(山城支部長/代理:会田氏)

概ね計画どおりだった。A部門放電技術委員会が主催する「放電研究会」を共催した。

東北支部(室田支部長)

小中学生など若年層が理科に興味を持ってもらうことを志向し,「たのしいサイエンス・サマースクール」,「電気実験の実演・体験コーナー」を後援した。また,8月29日~30日の日程で平成15年C部門大会が秋田大学で開催された。

東京支部(尾崎支部長/代理:林氏)

- ・講習会の開催数は計画を上回った。
- ・学生会員獲得・会員予備軍育成のための活動強化を志向し,引き続きサイエンスボランティアなど社会に開かれた活動を行った結果,昨年に比べ参加者数が増加した。
- ・インターネット活用方策について,積極的に提言を行った。

東海支部(清水支部長)

初めての試みとして,10月4日~5日の期間で小学生を対象とした「青少年のための科学の祭典」へ出展した。また,A部門の誘電・絶縁材料研究会を1回共催するとともに,他学会のイベント等に5回協賛した。

北陸支部(松波支部長)

概ね計画どおりだったが,サイエンスボランティアは昨年よりも多く3回開催した。

関西支部(阿部支部長/代理:元治氏)

講習会の開催数について,計画では3回であったが実績として6回開催した。そのうちの3回は調査専門委員会との共催であった。

中国支部(副井支部長)

見学会の開催数について,計画では2回であったが実績は1回に留まった。なお,平成15年度電気・情報関連学会中国支部連合大会の講演件数465件は,他学会分を含んだ件数である。

四国支部(青野支部長)

欠席のため,省略した。

九州支部(二宮支部長/代理:興氏)

- ・初めて講習会を計画し,2回開催した。来年度は見学会の開催を計画している。
- ・電子情報通信学会との共同支部事務局の設置を模索したが,事務局員の雇用形態の違いなどが原因でうまくまとまらず,当面は従来どおり電気学会単独で支部事務局を運営することとした。
- ・他学会との支部事務局の共同設置については,今回は良いケーススタディだったと考えており,今後も検討を続けていく。必要に応じてその都度状況を報告する。

#### (2)特別委員会関係

ホームページ運用委員会(長尾委員長/代理:事務局 佐々木)

- ・委員長,幹事をはじめ,委員会構成が大幅に変更され新体制のもとで活動を行った。それに伴い,委員会の関係規程類の検討を実施した。
- ・ホームページコンテンツの現状と刷新計画(各部門・支部)等について検討を行うとともに,ホームページのリニューアルについても検討を開始した。

技術者教育認定制度検討委員会(日高委員長)

前回理事会において,当初の目的であった制度の検討は終了したため,技術者教育認定制度

検討委員会は発展的解消し、新たに「技術者教育委員会」を設置することが審議され、設置・解散ともに承認されたため、省略した。

広告委員会（河合委員長／代理：事務局 櫛間）

300 ページを計画し、15 年度は広告量の増加を主目的に活動を行ったが、実績は前年比 3 ページ減の 215 ページを確保するに留まった。

部門誌の電子ジャーナル化検討特別委員会（大久保委員長）

- ・平成 15 年 4 月に論文誌 A・E の電子ジャーナルを一般公開したのに続き、論文誌 B・C・D の電子ジャーナル化の準備を進め、16 年 4 月から一般公開した。
- ・本特別委員会は当初の目的を達成したので平成 16 年 5 月をもって解散することとし、電子ジャーナルに関する今後の事務的な処理については、編修会議および部門の協力を得て事務局が遂行することとした。

出版事業委員会（桂井委員長／代理：事務局 槌屋）

出版企画図書 6 点、新刊発行図書 5 点を発行し、ほぼ予算どおりの収支であった。

電磁界生体影響問題調査特別委員会（関根委員長／代理：事務局 荒井）

平成 14 年度に取りまとめた「電磁界の生体影響問題に関する現状評価と今後の課題（第 1 期報告書）」以降の国内外の動向について把握を行い、特段の状況変化がないことを確認した。

- ・本委員会 1 回、拡大幹事会 2 回（内 1 回はリスク管理の勉強会）を開催した。
- ・専門家と一般公衆とが正しい理解を共有するための方策の検討を開始する。

国際活動委員会（高橋委員長／代理：事務局 森）

IEEE など国際会議開催の支援、英文ホームページの充実、IEEE と電気学会との協力協定書の更新実施等を行った。

電気規格調査会（鈴木会長／代理：事務局 蘆立）

- ・JEC 規格の制定および普及については、制定 3 件・改訂 2 件・廃止 7 件であった。
- ・電気専門用語などの標準化については、制定 1 件・改訂 1 件であった。
- ・IEC / SC2G（回転機試験方法および手順）の解散が決定された。
- ・IEC / TC9（鉄道用電気設備とシステム）の審議団体を電気学会から鉄道総合技術研究所に移管した。
- ・JIS 規格に係わる審議では、8 件の JIS 原案を作成した。
- ・特記事項として、平成 15 年 10 月 1 日付けで事務局組織内に「標準化推進室」を設置し、電気規格調査会の体制強化を図った。

超電導機器の導入効果と試験法調査特別委員会（塚本委員長／代理：事務局 蘆立）

現行機器ならびに開発あるいは開発段階の超電導機器の試験項目・方法の調査を行うとともに、新たな国内外における超電導電力機器の導入効果の調査および国内外の技術動向の調査を実施した。

電気技術史特別委員会（末松委員長）

事業報告（案）の提出がなかったため、省略した。

産学連携プロジェクト推進企画特別委員会（立花委員長／代理：事務局 蘆立）

ブレイン・ストーミングや他学会との意見交換会（土木学会、日本建築学会、石油学会と 4 回開催）を通じて、学際領域などで 20 件の創造的研究テーマを抽出した。

## 2.2 平成 15 年度収支決算報告について

生駒会計理事から資料 2「平成 15 年度 決算報告について」に基づき、次のとおり説明があり審議の結果、承認された。

- ・15 年度決算は支部会計を包括し、一般会計・特別会計・支部会計合計の決算となった。一般会計と支部会計間の内部取引を消去した後の全社決算額は、当期収入 921,478,457 円、

当期支出 899,570,784 円 , 当期収支差額 21,907,673 円 , 次期繰越収支差額 349,435,643 円 と なった。

- ・ 一般会計では当期収入 899,574,529 円 , 当期支出 883,260,735 円 , 当期収支差額 16,313,794 円 , 次期繰越収支差額 277,419,725 円 と なった。
- ・ 平成 16 年度より事務局 O A 化の再構築が始まることを受け O A 化準備預金積み立てを増加する。具体的には 17 年度中で 95 百万円程度必要となるが , 今回の積立予定額では 10 百万円ほど不足することが予想されるため , 15 年度決算において 10 百万円を予算計上していた 25 百万円に追加計上し 35 百万円とした。
- ・ 特別会計では当期収入 8,575,050 円 , 当期支出 4,053,535 円 , 当期収支差額 4,521,515 円 , 次期繰越収支差額 40,999,230 円 と なった。
- ・ 支部会計当期収入合計 39,759,199 円 , 支部会計当期支出合計 38,686,835 円 , 当期収支差額 1,072,364 円 , 次期繰越収支差額 31,016,688 円 と なった。
- ・ O A メンテナンス費用は , 毎年度の予算へ繰り入れることとなる。
- ・ 経営改革特別委員会のコストダウンに協力頂いたことに感謝する。

### 2.3 平成 16 年表彰受賞者の決定について

河合副会長から資料 3「第 42 回功績賞・第 13 回業績賞・第 60 回電気学術振興賞・第 7 回優秀技術活動賞選出者一覧(平成 16 年)」に基づき , 表彰委員会において第 42 回功績賞 1 件 , 第 13 回業績賞 5 件 , 第 60 回電気学術振興賞 17 件(内訳:進歩賞 8 件 , 論文賞 8 件 , 著作賞 1 件) , 第 7 回優秀技術活動賞 10 件(内訳:技術報告賞 8 件 , 特別賞 1 件 , グループ著作賞 1 件)の受賞者を選出したとの説明があり審議の結果 , 承認された。

### 2.4 「経営改革特別委員会」活動報告について

城後副会長から資料 4「経営改革特別委員会 活動報告(概要), 他」に基づき , 発足の経緯 , 組織の位置づけ・構成 , 活動期間 , 検討内容について概要の報告があり審議の結果 , 承認された。

また , それに伴う常任理事会・企画会議の再編成 , 継続検討課題と引継会議体について提案があり , 併せて承認された。

### 2.5 常任理事会 , 企画会議の運営要綱廃止および経営戦略会議 , 総務会議 , 企画委員会の運営要綱制定について

城後副会長および蘆立事務局長代理から資料 5「常任理事会 , 企画会議の運営要綱廃止および経営戦略会議 , 総務会議 , 企画委員会の運営要綱制定について」に基づき , 前回の理事会において , 経営改革特別委員会答申案について審議があり , 常任理事会 , 企画会議 , 経営改革特別委員会の廃止と「経営戦略会議」, 「総務会議」, 「企画委員会」の設置が承認されたのを受け , 各会議体の運営要綱(案)を作成したとの説明があり審議の結果 , 以下のとおりとした。

- ( 1 ) 「企画委員会運営要綱(案)」第 2 条(審議事項)( 7 ) 項「その他 , 緊急性を有する理事会審議事項」は削除する。
- ( 2 ) 「企画委員会運営要綱(案)」第 4 条(実施の扱い)は , 経営戦略会議運営要綱に移す。
- ( 3 ) 上記( 2 )に関連して , 経営戦略会議運営要綱案の文言を見直し , 経営戦略会議において決裁ができる権限範囲等を盛り込むこととした。
- ( 4 ) 「企画委員会」副委員長の会計副会長の是非については , 原案のどおり事業全体を見渡すべき立場にある会計副会長には坦務頂くこととした。
- ( 5 ) 経営戦略会議の審議事項にある「事業計画」は各会議体にもあり得る。事業を推進する上での P D C A のうち , P , C は経営戦略会議 , D , A は総務会議が担当することから審議事項にある「事業計画」は , 「事業企画」とする。

## 2.6 電気学会細則および支部共通規程変更について

河合副会長および事務局（堀江氏）から資料 16「電気学会細則および支部共通規程変更について」に基づき、支部事業の目的の明確化および支部監事の設置について、次のとおり提案があり審議の結果、本日付けをもって提案どおりに電気学会細則および支部共通規程を改正することが承認された。なお、本改正に関する実運用については、平成 17 年度（17 年度の財産確認時）からとすることも併せて承認された。

- ・経営改革特別委員会WG4において、支部のあり方を検討した。
- ・その結果、「支部事業の目的が明確化されていないこと」および「支部監事が規程上設けられていないこと」が明らかとなった。
- ・それらを改善するため、関係する電気学会細則および支部共通規程の一部改定を提案する。

## 2.7 専務理事の選出について

鈴木総務企画理事から資料 6「専務理事の選出について」に基づき、村岡専務理事の 3 期目重任について提案があり審議の結果、承認された。

## 2.8 事業維持員代表評議員の交代

事務局から資料 7「事業維持員代表評議員の交代について」に基づき、芦塚日出美氏は平成 16 年度九州支部長に就任するための交代である旨の説明があり審議の結果、次のとおり交代が承認された。

芦塚日出美氏（九州電力） 樋口隆啓氏（九州電力）

## 2.9 D部門役員の交代

四元D部門長から資料 8「(D部門)役員の交代について(案)」に基づき、藤原俊輔氏が長期入院するための交代である旨、説明があり審議の結果、次のとおり交代が承認された。

総務企画担当：藤原俊輔氏（東海旅客鉄道） 中村雅憲氏（D部門役員会委員 / 東洋電機製造）

## 2.10 OAシステム入札業者の選定について

河合副会長から資料 9「OAシステム更新のための入札結果と業者選定について」に基づき、経営改革特別委員会WG3で4月14日～15日に第1次審査で絞り込んだ入札業者3社に対して、プレゼンテーションおよび内容確認を行い評価した結果、(株)日立情報システムズを第1候補業者とした旨の説明があり、審議の結果承認された。

## 2.11 会員入(退)会の承認

櫛間事務局長から資料 10「2004 年 2 月～3 月会員入(退)会の承認について」に基づき説明があり審議の結果、承認された。

- ・個人会員入会者数 : 372 名
- ・個人会員退会者数 : 3,097 名
- ・事業維持会員入会数 : 1 社 (1 口)
- ・事業維持会員退会数 : 13 社 (36 口)
- ・事業維持会員口数変更 : 0 社 (0 口)

なお、平成 16 年 3 月末の会員数は、個人会員 25,141 名、事業維持会員 486 社 (3,386 口) となった。また、下記の意見の中で(2),(4)については、可及的速やかに事務局において対応することとした。

### 【主な意見】

- (1) 平成 16 年 3 月末現在で会費未納者が 1,251 名あり，この会費未納者の除籍（4 月または 5 月に実施）を考慮すると，実質的な会員数はさらに減ることとなる。
- (2) 事業維持員から退会の申し出があった場合，会長名でしかるべき役職の方へ慰留の手紙を差上げると効果が期待できる。
- (3) 退官する先生方へ慰留の手紙を差上げている学会もある。
- (4) 関係者に退会の取り消しを説得してもらうことを可能とするため，退会者リストを所属別に並べ替えてはどうか。

## 3. 報告事項

### 3.1 平成 15 年度 業務監査報告

藤原監事から資料 11「平成 15 年度 監査報告書」に基づき，総務企画・会計・編修・研究経営など項目ごとに，16 年度以降の活動に対する要望事項を中心に業務監査報告があった。

### 3.2 平成 15 年度 評議員会概要報告

村岡専務理事から資料 12「平成 15 年度 評議員会 議事録（案）」に基づき，去る 4 月 16 日に開催され，出席者 16 名・委任状 27 名で定足数を満たし成立した旨の報告および主な意見の紹介があった。

### 3.3 公開シンポジウム「欧米大停電の教訓は何か」，第 92 回通常総会「新会長演説」および「特別講演」開催のご案内

村岡専務理事から資料 13「電気学会シンポジウム「欧米大停電の教訓は何か」開催のご案内」と資料 14「社団法人 電気学会 第 92 回通常総会における「新会長演説」および「特別講演」開催のご案内」に基づき，広く周知頂きたい旨の依頼があった。

### 3.4 事業概況報告

櫛間事務局長から資料 15「事業概況報告」に基づき，学会誌・部門誌の掲載ページ数，図書出版，研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて，平成 15 年 4 月から平成 16 年 3 月までの実績報告があった。

### 深尾会長挨拶

平成 15 年度の実質的な最終理事会につき，深尾会長から次の内容の挨拶があった。

- ・電気学会は広報活動が弱い。ホームページ等の充実が必要である。
- ・経営改革特別委員会の活動報告は，学会誌・ホームページへ掲載して広く会員へ周知頂きたい。
- ・会員数減少に歯止めをかけるため，女性会員の勧誘，退会者の引き止めを積極的に推進しなくてはならない。

以上，すべての議案の審議を終了し 17 時 15 分閉会した。

平成 16 年 5 月 21 日

社団法人 電気学会

議事録署名人	深尾 正
議事録署名人	河合三千夫
議事録署名人	鈴木 登夫